

令和4年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	生坂村『創造の森』プロジェクト
事業主体 (連絡先)	生坂村 (担当：村づくり推進室 0263-69-3111 (直通))
事業区分	産業振興、雇用拡大 (イ 農業の振興と農山村づくり)
事業タイプ	ソフト・ハード
総事業費	935,850円 (うち支援金：743,000円)

事業内容

脱炭素モデル地区となる生坂村『創造の森』を中心に、ゼロカーボンアクションや脱炭素型ライフスタイルを実践するため、イベントの第一弾として、地区内にアースオープン* (竈) を建築家・遠野未来氏と共に作るワークショップを実施。(※アースオープン：稲わら、田んぼの土、砂、レンガなど地元産の身近な素材等で手作りできる石窯)

◆いっしょにつくろう！ロケットストーブ式 版築アースオープンワークショップ

日時：8月～10月の週末 (全5回) 9時～12時
参加者：のべ76名

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- イベントの開催によって、地元住民と移住者が交流する機会が生まれ、新たな地域コミュニティを形成することができた。
- 村広報誌への記事掲載や、ワークショップ参加者を通じて村民に広く取り組みを周知することで、脱炭素型ライフスタイルへの理解を深め、ゼロカーボンへの意識を村全体に波及することができた。
- 株式会社松本山雅と協働で、脱炭素型ライフスタイルの先進モデル地区として、『創造の森』における取り組みを村内外へ積極的にPRした。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

- 次年度以降、イベント (ワークショップ) の参加者数は、新型コロナウイルス感染症の状況にもよるが50名 (村内30名、村外20名) を目指す。
- 今年度の取り組みによって醸成されつつあるゼロカーボンに対する意識のさらなる波及を目指して、村民に対して脱炭素型ライフスタイルへの理解促進と普及啓発を継続して行う。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた

「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある



【窯 (ドーム) 部分の製作】

【目標・ねらい】

- ①新たな地域コミュニティの形成
- ②ゼロカーボンに対する意識の村全体への波及
- ③『創造の森』における脱炭素型ライフスタイルの理解促進

※自己評価【A】

【理由】

- ・ワークショップを通じて、雲根地区を中心に地元住民と移住者の新たな地域コミュニティが形成された。
- ・イベント参加者を通じてゼロカーボンへの意識を村全体に波及することができた。